

アネシス新聞

発行元
特別養護老人ホーム
アネシス
在宅介護支援センター
アネシス

『ほほえみの会開催』

平成十八年度より、「健やかさんさん教室」として、アネシスでは介護予防に努めてまいりました。健やかさんさん教室の名称として、手賀地域の方言である「えにする」助け合う」という言葉から、「えにする会」と名づけて活動して来ました。

健やかさんさん教室により、要支援、要介護状態になるのを予防し、住みなれた地域で元気に暮らしていただくために、三ヶ月という期間で簡単な体操や脳の体操、口腔ケア、そして栄養についての講座を行ってきました。

しかし、その三ヶ月が修了してしまうと、その後には教室で行ってきた事を自宅でやっていただけるかという点、必ずしもそうではありませんでした。また、地域で皆様が集まるという場所を手賀地域では皆無でした。そこでアネシスでは、毎月第四日曜日に施設を開き、皆で集まる場として利用していただくことを考え、「笑顔み喫茶 ほほえみの会」というサロンを開催する運びとなりました。気軽に来ていただき、会話を楽

しまれたり、お茶を飲んでいただいたり、その他に様々なレクリエーションを行って、楽しんでいただきたいと思います。

その第一回を平成二十五年四月二十八日(日)に開催しました。初回ということもあり、アネシスを知っていただくということと、地域の皆さんとの顔合わせを行いました。

今回、手賀、布瀬、鷲野谷、泉地区で総勢三十二名の方々に参加していただきました。また、沼南包括支援センターの山口センター長、野澤社会福祉士、泉の民生委員の石原様にもご協力いただきました。

午前中は、柏市の体操である「げんきりん体操」を沼南包括支援センターの方々に指導いただきました。石原様による手芸の披露と説明がありました。

昼食後は、アネシスの金澤職員によるフラダンスの披露があり、皆様楽しまれた様子でした。

今回、初めての試みという点もあり不安もありましたが、多くの方々にご参加いただけました。「ほほえみの会」という名前のと

おり、沢山笑っていただけたのではないでしょうか。今後、皆さんの「ほほえみ」が見られるように職員一同取り組んでいきたいと思えます。また、参加される皆さんにも色々なご意見やご協力をいただきたいと思います。

参加された方々の感想

- ・すごく楽しかった。
- ・アネシスの近くに居るの、アネシスを知らなかったが、知る機会になった。
- ・昼食が美味しかった。
- ・楽しい時間を過ごせた。

という感想をいただきました。

今後の要望

- ・皆さんの歌を聞きたい
- ・参加するのが楽しいので年間開催してもらいたい。
- ・今後は男性にも参加してもらいたい。フォークダンスがしたい。
- ・体に優しい体操がしたい。
- ・踊りがしたい。
- ・買物に出たい。
- ・バスを借りてどこかに行きたい。
- ・頭の体操がしたい。
- ・道の駅に行きたい。
- ・花見に行きたい。
- ・手芸をしたい。

今回、様々なご要望をいただきました。その中でも外出や買物に行きたいとの要望が多かったので、今後は外出等の要望にもお応えしていければと思っております。

す。

次回開催は、五月十九日（日）を予定しておりますので、皆さんのご参加を心よりお待ちしております。

サロン開催後は、サロンの様子をブログに載せていきますので、是非ごらん下さい！ブログのアドレスは、<http://anesis.iku4.com/>です。

『サロンの風景』

・三木職員による開会で始まりました。



・沼南包括支援センターの山口職員と野澤職員による、げんきりん体操



・三木職員による、頭脳の体操風景



・昼食は、アネシスの食事を賞味していただきました。



・皆さんご歓談されながらお食事をされていきました。



・石原様によるお話



『沼南包括支援センター』より

初めての開催で、三十二名の参加は今までの地域への貢献の証ですね。ほほえみの会は、アネシスさんの想いと地域のニーズが合致したものだと思います。これから、この企画が地域により根ざしたものとなるために、今後の展開を一緒に考えていけたらと思います。そのために、開催後の振り返りと次への意見交換を密にしていきたいと思います。